

薬を注文しましたところ、来年の6月から薬を送ることができなくなるかもしれないので、了承して欲しいと云われました。なぜなのでしょう？との問いに薬は薬局の薬剤師さんなどの資格者から直接手渡しでなければ不慮の事故が起きる可能性があるのでは宅配便の薬の配送は認められない？と聞きました。電話相談で地方の薬剤師さんに詳しく相談したうえで希望の薬を発送して買い求めるのに何が問題なのですか？忙しい世の中、地方で購入した同じ薬が飲みたい場合、貴重な時間と旅費をかけて出かけて購入した薬局に出向かなければいけない理由はなんですか？都会でも自分が希望する薬を扱っていない薬局が多数あり注文して取り寄せることができないと云われる事が多くありますし、その薬品を取り扱っている薬局があっても不親切で質問しても納得する説明もしてくれない場合も多々あります。これらの事は消費者への医薬品の安全性を云いつつ、希望する薬品を購入する理由を著しく阻害する法律の改悪以外なものでもないと思ふ次第です。消費者いじめの改悪です。薬の法律改正に絶対反対します！！（※）

18) 当方は離島の住民です。当地の薬局では扱っている医薬品に限りがあるので、現在はほとんどの薬をネットで購入しています。これができなくなると、都心に出た際にまとめ外をするしかなくなりますが、水虫の薬などは女性にとって対面販売では買うのは恥ずかしいものです。店頭では買う気にはなりません、かといってなくてはならない必需品でもあります。お願いですので薬事法の改悪は中止してください。（※）

19) 田舎に住む私たちは車がないとどこにもいけないくらい不便を感じます。ですから高齢者の方も「高齢者マーク」をつけて運転をされるのです。バスの便も少なく、公共交通では行きたいところへいきません。そんな田舎に暮らす私たちにはインターネットはとてありがたいです。出かけなくてもほしいものが買えるのですから。薬もそうです。お店に出かけることが難しい方には、なくてはならないと思います。

20) 私はもともとからだが強くないので風邪などにかかることが多く、またアレルギーもあり、愛用している漢方の風邪薬を自宅に常備しております。地域の漢方薬局は閉店時間が早く、仕事帰りによろうにも、あいていない状態なのでこれまでインターネット上の漢方薬局で薬剤師さんに相談の上入手していました。従来とってきたこのような手配が不可能となりますと、帰宅時間の関係上通常のドラッグストア等でおいている薬しか入手できなくなってしまいますし、少なくとも我が家の近所のドラッグストアにいる薬剤師さんは漢方のことにあまり詳しくない方がほとんどで、適切な薬選びをしていただくことも以前より難しくなってしまうと考えます。首都圏の会社は残業等で帰宅が遅くなることも多く、私と同様の悩みを抱えているかたがたも相当いらっしゃることと存じます。どうか体と精神に鞭打って家族のために働いている人間のため、上記の項目に関しまして再考をお願いしたく筆をとりました幸いです

21) インターネット上で薬を買うことが出来なくなると困ります。私自身、現在妊娠をしていて妊娠がわかるまでに妊娠検査薬を何度かネットで成分などを確かめたり、参考にして買っていました。実際に購入するときも、お店の人と対面をして何度も買うことが恥ずかしかったことを覚えています。それに今後子供が生まれた後のこともとても心配です。旦那が外国人のため、薬を買うとしたら私しか出来ないのですが、私も正社員としての仕事があるので日中は買い物にいけませんし、帰宅するころには家の近くの薬局は閉まっています。そうすると、常に薬を常備しておけということですか？

宅する前に途中下車をして薬局に買いに行けということなんですか？

私の秋田に住んでいる 80 歳の祖父はパーキンソン病の祖母の看病をしていて、自分自身の体に気を使っている時間がないので、私も含め、親戚たちは時に薬を注文していて、直接祖父に届くよう、送ることがあるのですが、これも今後は出来なくなるのですか？

祖父が風邪を引いても体に痛みがあっても薬を送るのは私たちが薬局で薬を購入してから送ることしかできなくなるのですか？冬に大雪の降る地方のお年寄りが病気をしても、一人で雪道を運転して薬を買いに行けということですか？（ほかに選択肢がない場合はやむをえないということですか。病気が悪化しないとは言いきれませんか）

私の祖父だけでなく、全国で体が不自由な方や、何らかの事情で時間がなかつたりする人は今後どうすればいいのですか？薬を買うための特別の時間を設けてくれるのですか？各家に救急箱を必ず置くようにするのですか？

だいいち、お店に人とお客さんが対面できないことと、薬を手渡し出来ないことという理由がまったく理解できません。

レジに何分か並んでお店の人と対面すること、薬を数分で棚から手渡しすることで何が変わるのでしょうか。

オンラインショッピングで薬が購入不可能になることで、どんなメリットがあるのか聞かせてもらいたいです。正直、何を買っているかなどを見られたくない人だって居るのではないのでしょうか。

例えばもう高齢で不妊症に悩んでいる女性が妊娠検査薬を購入したりするのも気が引けるものだと思います。痔の薬や、いんきん・たむしの薬、フェミニーナ軟膏だって、決して堂々と購入できる種類の薬と度は思えません。

身体が健全で、時間が十分ある人にとってはこの件はそれほどたいしたことがないのかもしれませんが、お年寄り、時間がない、薬屋さんまでの距離がある、大雪の中身動きが取れない、そういう人が今までオンラインショッピングでどれだけ助けられたか、ご考慮いただきたいと思います。宜しくお願いします。（※）

2 2) 長崎は離島が多いところです。壱岐・対馬・上五島・下五島・伊王島・端島・高島・鷹島・平戸など離島の人からの薬品漢方薬の注文が多いところです。

一般用医薬品もついでに頼まれます。私は長年薬局をやっていて、離島からのお得意様がたくさんいらっしゃいます。離島の方は長崎まで来るのは何時間もかかります。その手間ヒマも大変なものです。お年よりも多く漢方薬を服用することで健康を維持しています。漢方薬を郵送できなくなれば漢方薬でしか治らない病気を抱えている方は、病気を苦しむ結果になります。漢方薬の郵送を禁止することには反対です。（※）

2 3) 離島に在住です。

普通の町に住む皆様には到底理解できない状況かもしれませんが、島では買えるものというのが非常に限られます、

こと医薬品については、島内での薬局は3軒あるものの、それぞれに品揃えに非常に偏りがあり、消費される度合い、流通量を考えると、特に多くの品をそろえるわけにいかないのも当然で、また、当然で、こちらの望む、あるいは試してみたい医薬品がないことが往々にして見受けられます。

また、島という小さなコミュニティということもあり、だれだれが何という薬を買った、何とかという病気らしい……。などといううわさもごく普通に簡単に流れてきます。

このような状況を避け、どこにも波風を立てずに安心して医薬品を購入できる手段が、通信販売なのです。

当方在住の屋久島はまだある程度大きい島なので、それでもまだましかもしれませんが、さらに小さな島や、僻地においては、薬局の存在すらない場所もあるはずですし、島民すべてが知り合いで、買い物もプライバシーもないということもある話です。

簡単に大きな網をかけるような安易な取り決めをせず、きちんと弱者の声を反映してもらいたいものです。

われわれのような離島在住者は、安定した仕事もなく、物価も高く、教育についても選択の幅が少なく、それゆえ島から出ようにも出られない者もいるのです。

システムを作る方は、あなた方の想像を超えるような暮らしも存在していることをきちんと理解して、今以上追い込むような真似をしないでいただきたい。

何かの不都合で決まりごとを変えるなら、変えたことによる不都合もきちんと考慮してください。

残念ながら、離島や僻地に住むものの話を聞くにつけ、そして自分の経験からも、いつもきりすてられ、虐げられているようにしか感じられません。(※)

24) 現在、離島にて生活しています。通信販売は生活の一部であり、島内にて医薬品を購入することはできません。(販売店がないため。)この法案が通れば、本土まで買い物に行かなければならなくなり、往復約4000円の船代を定期的に負担しなければならなくなります。ただでさえ高い島内の物品販売に更に負担増となります。また、通信販売と店頭販売でアルバイト等が薬品を扱うこと、差異が感じられません。販売の規制が緩和されるのは問題がないように思いますが、通信販売が規制されるのは納得できないことです。

25) 消費者利用の観点から言及すると、「離島・山間部や遠隔地に住んでいる」、「近くに薬局やドラッグストアがない」、「身体的理由や家庭内事情で外出が出来がたい」、さらに「漢方薬などかかりつけ薬局で自分にあった医薬品を購入していたが、遠方に引越しをし、薬局まで行くことが困難になった」など様々な理由で医薬品を薬局で購入できがたい状態におかれた方の医薬品を利用する機会を奪うことにつながるといえる。都市部に居住し、薬局を直ぐに利用できる方の視点からではなく、薬局を利用しがたい方や自分に必要不可欠な医薬品を入手しなければならない方の視点からも考えるべきであるといえる。

26) 都会ではすぐ近くにドラッグストアや薬局がありあまり支障がないでしょうが、山間地では医薬品を扱っている店まで車で20～30分かかり、運転のできない高齢者は公共交通機関も日に数本しかない現状では今まで以上に不便になってしまうと思います。

私自身もよくインターネットで購入しますが、それが出来なくなるとすると、一番近い店舗までバスで行かなくてはなりません。平日は仕事がありバスは朝出かけると昼間までありません。仕事を一日休んでまで買い物をしたくはありません。

このあたりは休日には店舗も休業なので休みの日には用がたりません。特に冬は雪が2メートルも積もりとてもお年寄りが出歩ける状態ではありません。全国一律の規制をするのであれば、地域の実情も考慮して頂きたいです。

27) 私の居住している場所で購入ができない商品等が多数あります。100kmも離れた場所に行かないと購入できない人はととても大変です。交通費等をかけて購入する人は経済的にも大変です。都会の方々はいいのですが、田舎に住んでいる人間は大変です。よろしくおねがいします。

28) 主人は病氣療養中です。無事手術が成功してアパートにて療養生活を送っています。今後は家賃の問題などもあり、田舎への移住も計画しています。そうなると、体が不自由な主人と、車を運転できない私にとって医薬品の入手は、通信販売に頼るしかありません。一般論として考えても、世の中の多くの人の中にとって、健康の維持に大きな悪影響があるのではないかと想像します。雪国の人や外に行けない多くの人が本当に困ると思います。

29) 今の医療では治る見込みがない難病だと宣告されました。病院医療で見放された患者ですが、長年漢方薬を服用して健康を保っています。薬局に行ってもそのときの体の状態を見てもらいながら薬を作っていただいています。体調が優れないときは電話でその旨を話して薬を郵送してもらっています。この法案が施行されれば薬を送ってもらうこともかなわず、たちまち困ってしまいます。漢方薬は、今の医療では病気を治す薬がないという患者に対しても体質改善して発症を遅らせる、または発症させないというすばらしい効用があります。これは患者に生きる希望を与えてくれます。どうかこういう患者の立場を考慮して下さって医薬品の郵送に規制がかかるような法案を通さないようお願いいたします。

30) 薬はほとんどインターネットで購入しています。ネットでもきちんと質問に答えてくれますし、町のドラッグストアよりも詳しいし、親切だと思います。なぜインターネットで購入できなくなるのか、理由がわかりません。町のドラッグストアだと、スーパー感覚で購入しているのに、ネットだと毎回きちんと対応しています。(説明書を読んでチェックさせるなど) もし買えなくなったら、今購入している薬は電車に乗りわざわざ買いに行かねばなりません。この案は、消費者や患者のことをまったく考えておらず、意味のない案だと思います。絶対に反対です。今後お年寄りが増えて買い物が不自由な方々が増えると思われるときに、時代に逆行していると思います。大体店で購入した薬について薬剤師が副作用を説明してくれたことなど、タダの一度もありません!! 建前だけでネットの販売を禁じるなんておかしいと思います。

31) 限界集落など都市部以外に住んでいる場合、特に高齢になってくると、車によって買いに行くこともできず電話で注文して、求める医薬品を配送してくれなくなると健康の妨げになり、非常に困る。生存権の侵害に当たる。(※)

32) 現在横浜市在住ですが、来年夫が再雇用定年につき永年の憧れだった自然たっぷりの田舎住まいを実行したく考慮中です。しかし、来年6月からネットで薬が購入できなくなるという記事を見て田舎住まいを躊躇せざるをえません。地方は不動産価格も安く、収入を公的年金にのみ頼る身には住居として最適条件です。ネットで薬がけなくなったら私たちの老後計画を再構築しなくてはなりません。地方活性化のためにも、ネット購入規制はやめていただきたく存じます。規制・規制の日本は江戸時代そのままの鎖国主義。官僚ももっと世界目を向けるべきだと思います。民間企業は世界1・2位でありながら、日本は世界の中で上位を占めることができないの

は進歩のない官僚が日本政治を支配しているからではないでしょうか。

33) 両親は体調管理の為、長年愛用している胃薬が有りますが、熊野在住で薬局はあるものの、多くの薬品の取り扱いもない為、通販で購入しています。もし、通販ができなくなると、購入を断念するが、多額の費用を使って遠方へ出かけなければなりません。又、私は以前兵庫県中心部に住んでおり、大手薬局での購入もできましたが、吉野に移住した為、安易に購入できなくなった為、通販に限られてしまっています。わざわざ遠方まで薬を買いに行くことはできません。

34) 我が家には脳性麻痺(一種一級)の2歳の息子がいます。日々の買い物も全てインターネットで購入し、生活しています。病院外で購入しなくてはならない医薬品も少なく、インターネットで購入し、指定した日時に配達されるというシステムに支えられ生活することができています。自由に買い物ができる健康な人はいかようにも対応できるでしょう。

しかし、障害者(児)や高齢者とその家族、また母子家庭や父子家庭で働きながら幼い子供を育てる家族、頼る人のいない高齢者など、インターネットや通信販売などに助けられている家庭もあるということを忘れないでください。

もし、この省令が制定された場合、我が家はどのようにして医薬品を購入したらよいでしょうか。(※)

35) 田舎の母親に常備薬を簡単に送ってあげることが出来なくなります。少しばかりの親孝行もできないなんておかしいですね。今まで何の不都合もなく出来ていたことが、突然不便な状況になるなんて改悪と違いますか。利用者の立場で考えてほしいです。

36) 私は昨年秋、重症の蓄膿症に罹りました。

近所の耳鼻科に2ヶ所に通院しましたが、良くなり次第に悪化していき、大学病院に行きました。大学病院では違った薬をもらいましたが、結果は快方に向かうことはありませんでした。(膿だらけで原因が特定できず、場合によっては手術と言われました)

ワラをもつかむ心境で、インターネットから蓄膿症に効く漢方薬があるのを知りました。電話で症状などを相談した上で、その漢方薬を購入し、その後少しずつ快方に向かいました。

今でも体質改善のために1種類、漢方薬を続けて飲んでいきます。今回、このような改正案があるというのを知り、今後、郵便で漢方薬が買えなくなるのは、大変困ります。

私の家の近くには、安売りのドラッグストアばかりで、相談して漢方薬を買える店がありませんし・・・仮に、電車に乗って行ける範囲にあったとしても、病気で具合の悪いときに買いに行くのは辛いです。電話などで直接相談し、納得して購入し、送ってもらっているのでそれがどうしていけない事になってしまうのでしょうか？

正直、改正され、今までのように購入できなくなったら、非常に困るし、今後、また重症の蓄膿症になったら・・・どうしたらいいのか、不安です。どうか、今までどおりインターネットや通販などで医薬品が買えるようにお願いします。

37) インターネットでお薬が買えなくなるって、本当ですか???スーパーでも買えるのに、何故いけないのか、わかりません。この改正の目的は、なんですか?ドラッグストアの現状に合わせての改正ですか?インターネットには、ドラッグストアもスーパーもあります。実店舗となんら変わりません。台風の日も、雪の日も買える、便利なお店で

す。

この改正を考えた人、厚生省の人ですか？東大出た、頭の良い人ですか？日本中の人、東京の人みたいに便利な暮らしが出来るわけじゃない。でもインターネットができて、日本中が平等になってきたと喜んでいて。スーパーもドラッグストアも車で1時間でも、ネットなら、都会のように便利。もっと分かって欲しい。もう一度、考え直してほしい。

38) 私は以前から、市販の漢方薬でアレルギーを抑えています。

現在も服薬は続いています、一般的な薬局にはほとんど市販されていない、いわゆる『マイナー』な薬です。

地元に住たときに一件だけ扱っているところがあるくらいでした。

今では地元から引っ越しましたが、新しい土地の薬局ではまず見かけることはなく(そもそも薬品名を薬剤師さんが知りませんでした。)インターネットの通信販売で、ようやく取り扱っている店舗を見つけ遠い地域から郵送してもらっています。

かつてネットがなかった時代は、地元に戻ったときに沢山購入しては、薬が切れても次の帰省までつらい症状を我慢する、ということがありました。

今では薬が切れる前にネットで注文すれば、数日のうちに届くので症状に苦しむこともなく、帰省の度に時間を割いて薬局に向き重たい薬の山を抱えて帰りの汽車に揺られることもなくなりました。

その後社会人になって仕事も忙しくなり、一般の総合薬だけでなく日用品・食料品なども通信販売で購入するくらいです。

インターネットの普及で、現在ではネット通販事業も多岐にわたり忙しい毎日の中で、消費の大部分をネット通販が占めています。

その分、本来買い物に費やされるはずの時間(交通・商品の吟味・購入手続きなど)をその他有効に使用することが出来るので、現在の生活スタイルになんら問題は有りません。

そんな『次世代のライフスタイル』が当たり前になっている昨今で、「薬に限っては店頭ないしは薬局にわざわざ出向いて購入しなければならない』という前時代的な販売方法を強いるのは、これからの時代にまったくそぐわないものだと思います。

むしろ、ネット事業を積極的に認め、そのための管理や販売の免許制度を作るほうがよほど有効で双方の有益になるものだと思います。

私たちの生活スタイルを否定するような、今回の規制に対しては全面的に抗議するほかありません。

誰もが、9時から5時の出勤で土日がおやすみだとおもわないでください。

こんな不景気な現在の日本で、悠長にお買い物できる立場の人がどのくらい居るのでしょうか。少子高齢化の時代で、表に繰り出せるお年寄りがどれくらい居るのでしょうか。

そういった人たちがすこしでも楽に暮らせるようになるためには程遠い改正だとは思いませんか。

この国の未来を見据える立場の皆様が、正しい判断をしてくださることを祈っております。

(※)

39) ネットでお薬が買えなくなるとききました。正直言って困ります。言うことを聞かない子供二人を連れて買い物に出ることは大変なことです。それに具合の悪いときはなおさら。今回は体調が悪いので病院でお薬を処方してもらい、妊娠しているけど飲んでも大丈夫なものを教えてもらってなくなった時のために、今度同じような症状が出た時のためにネットで買っておこうと思ったのです。(そこで今回のことを知りました)今後、このようにネットで変えなくなると困ります。ドラッグストアでも薬剤師さんがこちらの症